



## 「水きよき本明川の螢にも」

吉井 勇

吉井勇は明治・大正・昭和にわたり、幅広い分野で活躍した歌人、劇作家、小説家。明治四十年、「五足の靴」の旅で本県を訪れた後、何度も来崎し、県内にはその歌碑も多く建立されている。

諫早公園の眼鏡橋のたもとにある大小二つの碑のうち、大きい自然石の碑には、「螢塚」の文字の下に次の歌が刻まれている。

水きよき 本明川の 螢にも

小さきいのちの ありていとしも

諫早市の本明川は螢が舞う清流だったが、戦後急速に姿を消した螢の霊を慰めその命を大切にしようとして、市内の小中学生が発案し小遣いを出し合って記念碑を作った。その際、歌を依頼された吉井勇が子ども達に贈ったのが前述の歌である。

昭和二十九年五月の除幕式には吉井勇も参加した。